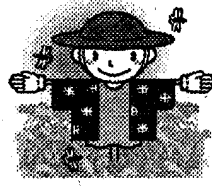


食育だより

平成27年
11月



11月は「地産地消月間」です！

八王子市立 山田 小学校

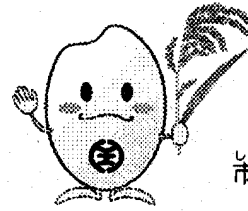
八王子の郷土料理

11月19日 酒まんじゅう

お盆やお祭りのときなどに家庭でよく作られていたおまんじゅうです。諏訪町諏訪神社では、毎年「まんじゅう祭り」が行われています。給食では、さつまいもの餡を包んでつくります。

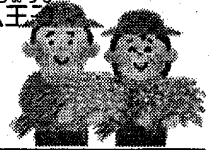
11月24日 かてめし

「かて」は混ぜるという意味で、八王子の方言で、混ぜごはんのことをいいます。お米が貴重だった時代にごはんの量を増やすため豆や雑穀・野菜などを混ぜていたことから、この名前がつけました。



八王子産の新米です！

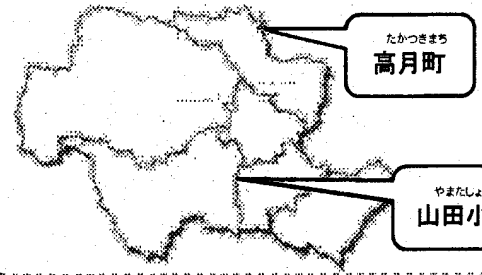
高月町の9軒の農家さんにご協力いただき、11月27日(金)に八王子市立保育園、小学校、中学校全校で八王子産の新米を味わいます。



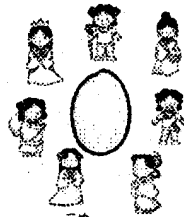
農家の方からみなさんへ。

※子ども達に地元のお米を食べてもらえて最高にうれしいです。
※地元のお米を、子ども達が食べてくれることで米作りにも気合が入りました！
※米作りに今まで以上にやりがいを感じました。
※ご飯をたくさんたくさん食べて、元気にすごしてください！

高月町は、良質な水環境に恵まれた地域で、八王子の米どころとなっており、都内最大級の田園風景が広がる地域です。



お米一粒一粒には神様がいます？！



『お米一粒には7人の神様がいます』という言葉があります。その神様は七福神であるとか、神様の人数は100人である、などいろいろな説がありますが、いずれも「お米は大切なものだ」ということをあらわしています。また、『ご飯粒を残すと目が見えなくなる』という、食べ物を粗末にしないようにするための言葉もあります。

「米」という字は「八十八」という文字から作られたといわれています。お米ができるまでには88回もの作業があり、農家さんが手をかけ大切に育てたお米です。ごちそうさまの前にお茶碗を見て、一粒も残さずに感謝して食べましょう。

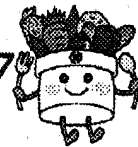


「はちおうじ食育フェスタ2015」にお越しください！

食育フェスタに今年も参加します！給食の献立レシピや食育に通じるゲームなど、もりだくさんの内容です。皆さまのお越しをお待ちしております。

日時 11月14日(土)10:30~15:00
会場 富士森公園陸上競技場(台町2-2)

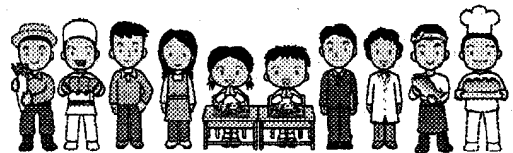
入場無料(雨天中止)
【保健給食課・学校栄養士】のブースです。



* 11月23日は『勤労感謝の日』*

始めは「新嘗祭」という農作物の恵みに感謝する行事でした。のちに、農業だけでなく「勤労を尊重、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう日」になりました。

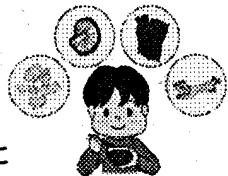
食べ物を育てる人、作る人、周りの働くすべての人へ、白ごころから感謝の気持ちをもてるといいですね。



* 11月24日は『和食の日』*

給食では、「和食の日」にちなみ「出汁」のうま味をしっかりと味わえるすまし汁を食べます。削り節と昆布の合わせ出汁です。

「和食」の味を決めるのは「出汁のうま味」です。「うま味」は日本人が発見し、外国ではこれにあたる言葉がないため、「UMAMI」と呼ばれています。和食を食べて「おいしかった」と感じる秘密は、「うま味」にあるのです！



はちおうじっ子

げんきおうえん

元気応援メニューは「ごはん」！



今年の秋に誕生したプロバスケットボールチーム『東京八王子トレインズ』の選手たちから、子供達へメッセージをいただきました！



体が大きくなる小中学生のころは、とにかくごはんをしっかりと食べるようにしていたので、けがをしにくい、バスケに集中できる、体調がよいなど、とても丈夫な体になりました！
自分の体のために、バスケのために、今もごはんをしっかりと食べます！